

「第2期砂川市子ども・子育て支援事業計画（案）」にお寄せいただいたご意見と砂川市の考え方

○意見募集期間：令和2年2月3日～令和2年3月3日

○意見提出者数：1人（個人1名）

○意見提出数：8件（個人8件）

○意見要旨及び意見に対する砂川市の考え方

※意見などについては原文の通りとしていますが、一部読みやすくするため修正などを行っています。

No	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
1	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(1) 社会全体で子育てを支える</p> <p>① 子育てに対する支援体制の充実</p> <p>屋内遊具場を作してほしい（秩父別町のような施設）</p>	<p>市内において、屋内に遊具を設置している主な施設としては、子育て支援センター、砂川ハイウェイオアシス館2階の屋内遊具ひろば、地域交流センターゆうの子ども交流ゾーン、公民館のキッズスペース、南・北地区コミュニティセンターのキッズコーナーなどがあります。</p> <p>今回いただいたご意見は、室内に大型遊具のある屋内遊具場を作って欲しいとのことですが、子育て関連施設の整備等の計画が検討されることとなった際には、ご要望を参考とさせていただきます。</p>
2	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(1) 社会全体で子育てを支える</p> <p>④ 子育てに対する経済的支援</p> <p>乳児おむつ無料クーポン券の使用期限の延長</p>	<p>乳児おむつ無料クーポン券につきましては、現在1歳の誕生日が属する月の前月末日を使用期限としております。本事業については、本計画を策定するために実施したニーズ把握調査や保護者の皆様から、経済的な負担軽減の一助として一定の評価をいただいております。</p> <p>今回のご意見につきましては、子ども・子育て会議においても同様のご意見をいただいております。おむつの使用期間については各家庭で差があることとしますので、今後事業を実施していく中で、いただいたご意見を参考に検討してまいります。</p>
3	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(1) 社会全体で子育てを支える</p> <p>④ 子育てに対する経済的支援</p> <p>医療費を小学生まで無料にしてほしい</p>	<p>現在の医療費助成の内容は、未就学児は入院通院ともに自己負担なし、小学生は入院のみ対象で、自己負担は、市民税非課税世帯が初診時一部負担金のみ、課税世帯が1割負担となっております。</p> <p>これまで市民懇談会などで保護者の皆様からご要望をいただく機会もあつたことから、当市で実施している他の子育て支援政策や財政状況などを踏まえて検討した結果、令和2年8月診療分より、小学生の医療費の自己負担を入院通院ともに市民税非課税世帯は無料、課税世帯については1割負担とし、子育て世代の負担軽減を図ってまいります。</p>

No	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
4	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(1) 社会全体で子育てを支える</p> <p>④ 子育てに対する経済的支援</p> <p>砂川市から札幌市等の遠方に通学する学生に対しての交通費の助成</p>	<p>本計画は18歳以下の児童を対象としており、小中学校につきましては通学区域がありますので、基本的には市内の小中学校に通学します。</p> <p>また、高校につきましては、地元唯一の高校であります砂川高校を間口対策として支援しており、遠距離通学者への通学助成ではなく、砂川高校の生徒がより充実した学びとなるように今後も力を入れていきたいと考えております。</p>
5	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(2) 子どもの健康づくりを支える</p> <p>① 母子保健サービスの充実</p> <p>不妊治療助成金の範囲の拡大（タイミング療法や人工授精にも助成金を出してほしい）</p>	<p>晩婚化に伴い、妊娠・出産年齢が上昇し、不妊治療を受ける方が増加しています。特定不妊治療は、高度な不妊治療の性質上、専門的に行う病院が札幌など市内にはなく、治療費は保険適応外のため高額となります。また、複数回の治療が必要になる方も多く、治療の継続を躊躇、延期する方もいることから、経済的負担を軽減するため当市では助成を拡大しながら実施しているところです。</p> <p>今回ご意見のありました一般不妊治療については、管内の医療機関でも受診でき、治療費については、医療保険が適応されるもので数千円から保険適応外の人工授精で数万円であることから、特定不妊治療への助成を優先させているところです。</p> <p>一般不妊治療の助成については、ニーズの把握に努めながら、必要に応じて検討してまいります。</p>
6	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(3) 子育てと仕事の両立を支える</p> <p>③ 職場における子育て環境の整備</p> <p>配偶者出産休暇の推進及び男性の育児休暇の推進</p>	<p>男性の育児休暇の取得につきましては、育児介護休業法に定められている制度ではありますが、男性の取得率は、全国的に低い状況にあり、ご意見にありますように、男性が育児休暇を取得しやすい環境の整備を図ることは重要と考えているところであります。</p> <p>一方、配偶者出産休暇につきましては、法律による定めがなく、各事業所における就業規則等で定められる休暇であり、現状そういった休暇を創設している事業所は少ないところでありますが、人材の確保を図るうえでは、こうした福利厚生面の充実は有効であるものと考えているところでもあります。</p> <p>当市においては、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、各種セミナーを開催しているところであり、今後におきましても、制度の周知及び普及並びに福利厚生制度の充実の必要性について、事業主を対象としたセミナーの開催を継続してまいります。</p>

No	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
7	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1.4 砂川市次世代育成支援地域行動計画の動向と課題及び施策の方向</p> <p>(4) 子どもの学ぶ力と生きる力を育む</p> <p>① 「生きる力」を育てる教育の推進</p> <p>東京都世田谷区立桜丘中学校のような、多様性を受け入れる小学校や中学校をつくってほしい</p>	<p>市内小中学校においては、児童生徒や保護者の声も取り入れながら、よりよい学校づくりに向けて改善を続けてきたところであり、今後の魅力ある学校づくりに向けては、令和2年度より市内の小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを進めていきます。</p>
8	<p>その他の意見</p> <p>きれいな公園を増やしてほしい</p>	<p>公園につきましては、計画対象施設ではありませんが、子ども・子育てのご利用の観点から回答いたします。</p> <p>公園の管理につきましては、現在子どもの安全を図るため遊具施設を中心に毎年点検を行い、危険箇所・不具合があった場合は修繕をしております。</p> <p>また、美観の向上につきましても管理者として努めるとともに、一部の公園につきましては市民による草刈りボランティアや花いっぱい運動を実施しており、引き続きこれらの推進に努めてまいります。</p>